

内田光子

with
マーラー・チェンバー・オーケストラ 2023

世界的ピアニストの
内田光子が、
びわ湖ホール初登場!
至高のモーツァルトに
ご期待下さい。

Mitsuko
Uchida

with
Mahler Chamber Orchestra
Japan Tour 2023

2023年11月5日(日)

15:45開場/16:30開演(18:30終演予定)

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

モーツァルト:ピアノ協奏曲第17番 ト長調 K.453

Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concerto No. 17 in G Major, K. 453

ヴェイトマン:『コラール四重奏曲』(室内オーケストラのための)

Jörg Widmann: Choral Quartett (for chamber orchestra)

モーツァルト:ピアノ協奏曲第22番 変ホ長調 K.482

Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concerto No. 22 in E-flat Major, K. 482

※都合により演奏曲目、演奏曲順等が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

Decca/© Justin Pumfrey

ピアノ・指揮:内田光子

Mitsuko Uchida, Piano & Director

マーラー・チェンバー・オーケストラ

Mahler Chamber Orchestra

チケット料金(全席指定・消費税込)

S席 ¥15,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000 学生券 ¥2,000(小学生~25歳以下)

*未就学児童のご入場はご遠慮ください。

*学生券は当日座席指定。当日は年齢の確認できるものをお持ちになり、座席券とお引替えください。びわ湖ホールチケットセンターでのみ取り扱い。

主催:キョードー 共催:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 招聘・企画制作:サントリーホール

発売日 びわ湖ホール友の会先行 9月28日(木) 10:00~(びわ湖ホールネットチケット・電話受付のみ) [一般発売 9月30日(土) 10:00~]

発売所 びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136 biwako-hall.or.jp *受付時間10:00~19:00(火曜日休館、休日の場合は翌日)
チケットぴあ t.pia.jp / イープラス eplus.jp / ローソンチケット l-tike.com

お問合せ キョードーインフォメーション 0570-200-888 (11:00~18:00/日祝休業)
びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136 (10:00~19:00/休館日除く)



©Geoffroy Schied

音楽の極みを探求し続ける求道者、内田光子。 2023年秋、最高のパートナーであるマーラー・チェンバー・オーケストラと奏でる 唯一無二のモーツァルト、その圧倒的な世界観。

PROFILE

ピアノ：内田光子 *Mitsuko Uchida, Piano*

内田光子は、真実と美の姿を独自に追求しながら、自らが奏でる音楽の世界を深く掘り下げている演奏家である。モーツァルト、シューベルト、シューマン、ベートーヴェンの作品の解釈で高い評価を受ける一方、ベルク、シェーンベルク、ヴェーベルン、クルタークなどの作品に光を当て、新しい世代の聴衆に紹介している。『ミュージカル・アメリカ』ではアーティスト・オブ・ザ・イヤー 2022 に選出された。

長年にわたりシカゴ響、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィルなどとの共演を重ね、クリーヴランド管との共演は100回を超える。ハイティンク、ラトル、ムーティ、サロネン、ユロフスキ、ドゥダメル、ヤンソンスといった世界的な指揮者との共演も多い。2016年からアーティストック・パートナーを務めるマーラー・チェンバー・オーケストラとは、ヨーロッパ、日本、北米でのツアープロジェクトを行っている。ウィーン、ベルリン、パリ、アムステルダム、ロンドン、ニューヨーク、東京で定期的によりサイタルを行い、ザルツブルク・モーツァルト週間やザルツブルク音楽祭にも頻繁に出演。

デッカと専属契約を結び、2011年にクリーヴランド管を弾き振りしたモーツァルトのピアノ協奏曲のライブ録音で、また17年にドロテア・レシュマンとで録音したアルバム『シューマンとベルク』でグラミー賞を受賞。また、長年にわたり若い演奏家の成長を支援。ボルレッティ・ブイトーニ・トラストの創設メンバーであり、2013年よりマールボロ音楽祭の芸術監督も務める。

05年日本芸術院賞を受賞、文化功労者に選出、15年には作品に対する深い探究と解釈が評価され、高松宮殿下記念世界文化賞（音楽部門）、ザルツブルク・モーツァルトフェスティバルよりゴールドデン・モーツァルト・メダルを受賞。サントリーホール アソシエイト・アーティスト。

マーラー・チェンバー・オーケストラ *Mahler Chamber Orchestra*

マーラー・チェンバー・オーケストラ (MCO) はその情熱と創造性で高い評価を受けている。1997年に指揮者クラウディオ・アバドと共に、自由で国際的なアンサンブルを目指すという共通のヴィジョンを持って創設され、2022/23シーズンは結成25周年となる。トップレベルの音楽家達45名のメンバーの国籍は20カ国に渡り、ヨーロッパを始めとした世界各地で定期的に演奏会を行っており、その活動の幅は5大陸40か国に及ぶ。

名誉指揮者としてダニエル・ハーディングが中心的役割を果たしているほか、アーティストック・パートナーとして、ピアニストの内田光子、レイフ・オヴェ・アンズネス、ヴァイオリニストのペッカ・クーシスト、指揮者のダニエレ・ガッティとは密接な関係を築き、長い時間をかけてオーケストラの音楽作りを追求している。

内田光子と5年にわたるモーツァルトのピアノ協奏曲プログラムを、ザルツブルクのモーツァルト週間、ロンドンのサウスバンクセンター、ニューヨークのカーネギーホールなどで行い、日本公演は2016年に続き2回目となる。その他MCOとしてはエクサンプロヴァンス音楽祭、サン・セバスティアン音楽週間、サンタンデール音楽祭（指揮者：ヤクブ・フルシャ）、ペララーダ城音楽祭（指揮者：グスターボ・ドゥダメル）、ルツェルン音楽祭への参加がある。



©Molina Visuals